

水産林務委員会の質問

ロシア200海里水域におけるサケ・マス流し網漁業禁止に係る対策について 9月11日



質 問

- (1) 流し網禁止対策の状況について
- (2) ロシア水域における代替漁法の実績等について
- (3) 代替漁業の操業実績等について
- (4) イワシ・サバの付加価値向上の取組について
- (5) 根室地域の対策に係る今後の対応について

根室地域はロシア水域のサケ・マス流し網漁業の禁止を受け、漁業をはじめとして、水産加工業、運送業など幅広い産業が大きな影響を受け、対策は道半ばと聞いている。道としても疲弊する根室地域の状況をしっかりと受け止め、中長期的な対策も含め様々な対応が必要と考えるが、見解を伺う

答 弁

答弁【水産林務部長】▶新たな生産体制の確立には、一定の時間を要することに加え、日ロ政府間で協議されている北方四島での共同経営活動においても、根室地域が中心的な役割を担うことから、私としては、地域が求める喫緊及び中長期対策を着実に進め経済基盤の強化を図ることが必要と考えている。このため、道としては、今後とも事業の進捗や課題を的確に把握し、ホタテガイの増殖事業や貯水・冷蔵保管施設、栽培漁業センターの整備などに対する支援制度の創設や予算の確保を国に働きかけるなど、根室地域が将来にわたり、発展できるよう取り組んでまいります。

第3回 定例会の概要

9月12日(火)から10月6日(金)までの25日間の会期で第3回定例会が開かれました。

今定例会では、知事から総額101億9,100万円余の平成29年度補正予算案及びこれに関連する議案等55件が提案されるとともに、「朝鮮民主主義人民共和国のミサイル発射及び核実験に抗議する決議」が議決されました。

本会議においては、行政事務全般にわたり、知事などに対し、執行状況や将来の方針などについて、各会派から1人ずつ計5人の議員による代表質問と、道政が直面する諸課題について22人の議員による一般質問が行われました。

また、「平成29年度北海道一般会計補正予算(第2号)」などについて、予算特別委員会を設置し審査するとともに、各常任・特別委員会においては、付託された議案について、審査を行いました。

★主な議決の状況★

- ・予算案「平成29年度北海道一般会計補正予算(第2号)」など 6件
- ・条例案「北海道立学校条例の一部を改正する条例案」など 6件
- ・決議案「朝鮮民主主義人民共和国のミサイル発射及び核実験に抗議する決議」
- ・意見案「国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を求める意見書」など 3件

★一般質問で多かった項目★

- ・危機管理—北朝鮮のミサイル発射に関する情報伝達の改善、避難訓練の実施など
- ・災害対策—台風18号への対応、河川の復旧工事・維持管理、流木対策など
- ・地域振興—地方の活性化、過疎地対策など
- ・福祉政策—障がい者の意思疎通に関する条例制定、農福連携など
- ・観光振興—財源確保の検討、IR(統合型リゾート)の推進、民泊の条例制定など
- ・一次産業の振興—EPA交渉への対応、日本海漁業振興基本方針の期間終了後の取組みなど

プロフィール

■昭和44年3月……………釧路市生まれ
■昭和56年3月……………釧路市立東栄小学校 卒業
■昭和59年3月……………釧路市立弥生中学校 卒業
■平成2年3月……………道立釧路湖陵高等学校 定時制 卒業
■平成6年3月……………釧路公立大学 経済学部 卒業
■平成26年12月……………トヨタカローラ釧路(株) 退職

■平成27年4月……………北海道議会議員 初当選
■現在……………北海道議会 水産林務委員会 理事
北方領土対策特別委員会 理事

新しい
ホームページが
出来ました!



田中ひでき オフィシャルwebサイト
製作/榛新生

田中ひでき事務所

〒085-0046 釧路市新橋大通8丁目2-19 ミヤシタビル 3F-B
TEL 0154-65-8063・FAX 0154-65-8064

北海道議会議員

北海道議会議員 田中英樹
道政報告通信紙

Action report
アクション レポート

田中ひでき

2017年
冬号

平成29年 第3回北海道議会予算特別委員会における質問と答弁(主な骨子)

教育委員会所管事項

①日本遺産について

◆根室管内1市4町では、豊かな自然に恵まれた根室地域における縄文時代から現代に続く歴史に焦点を当てたストーリーを検討しており標津町を中心に日本遺産の認定に向けた検討会議を立ち上げた。国では2020年までに100件程度認定する予定だが、既に半数以上の認定が進み、道教委としても更なる認定に向け積極的に取り組むべきではないか。

答弁【生涯学習推進局長】▶日本遺産は、地域の活性化を図ることを目的としており、地方創生にも資する取組であると認識。道教委としては知事部局との連携を図りながら市町村との情報交換を密にして国との連絡調整を緊密に行うなど、更なる日本遺産の認定に向けて、積極的に取り組んでまいります。

②高等学校の通級制度について

◆平成28年12月に国において学校教育法施行規則が改正され、平成30年4月から、高等学校における通級による指導が実施されます。特別的教育課程による指導の充実に向けては、各学校の校内体制を整備することはもとより、関係機関との連携が重要であり、道教委は今後、どのように取り組んでいくのか伺う。

答弁【学校教育監】▶障がいのある生徒への指導や支援を行うに当たっては、中学校や特別支援学校関係機関などと連携して障がいのある生徒の状況を的確に把握し、支援方策の検討を行う校内体制を整えるとともに、校内研修の充実により教職員の専門性を向上させることが重要と考えている。指定校の事例などを全ての高校に紹介し、道立特別支援教育センターなどが行なう研修を通じて生徒の障がいの特性に応じた指導方法の充実を図るなどして高等学校における特別的教育課程による指導が円滑に実施されるよう努めてまいります。

③健康教育について

◆多様化する本道の子どものための健康課題を解決するため、札幌医科大学などの医育大学と連携した出前授業の実施などについて積極的に取り組むべき。

答弁【教育長】▶道教委としては、委員御指摘の点も十分に踏まえ、今後、知事部局はもとより、札幌医科大学をはじめとした医育大学や病院等の専門機関と一層の連携を図り、医師や大学教授等による児童生徒への講話を充実させるなどして健康教育の更なる充実を図ってまいります。

経済部所管事項

①食の輸出拡大戦略について

◆道産食品の輸出拡大を進めていくことで、地域経済の活性化につなげていくことが重要であり、これらの点について検証すべきと考える。

答弁【食産業振興監】▶道では輸出に取り組む事業者等へのヒアリングを定期的に実施し相談や支援を行ってきた。今後ともこうした声に耳を傾けながら輸出目標額の達成はもとより、持続的な経済成長や雇用創出など力強い地域経済の構築といった観点も踏まえて道産食品の輸出拡大に向けた取り組みを着実に進めてまいりたい。

②国際観光について

◆外国人観光客の多くが道央地域に集中している。道内各地への分散に向けてどのように取り組んでいくのか観光振興監の所見を伺う。

答弁【観光振興監】▶道央圏に集中しがちな観光客を道内全域に誘導し、観光消費による効果を全道に波及させることが重要。道東・道北の広域観光周遊ルートの形成、DMOの形成促進など地域の取り組みを支援しているところ。今後とも観光振興機構と一体となって地域の関係者と連携を図りながら道内各地域への外国人観光客の誘致を促進してまいります。

③新エネルギーの導入拡大について

◆道は創設した「新エネルギー導入加速化基金」によって地産地消に取り組む市町村への支援などを行っていますが、このことは地域経済の活性化を図るうえで重要であり、導入拡大を一層進めていくことが重要であることから、今後どう取り組んでいくのか伺う。

答弁【経済部長】▶「新エネルギー導入加速化基金」により、先駆的なエネルギー地産地消のモデルづくりを支援し、モデルの成果を活用した取組を全道各地に広げていくとともに、設計や導入など取組の段階に応じたきめ細やかな支援を行うなど様々な施策を積極的に活用して全国トップクラスのポテンシャルを有する新エネルギーの一層の導入拡大に向け、地域や企業の皆様を連携しながら取り組んでまいります。

北海道・道東のために全道をかけ巡ります。

元島民との懇談

2017年7月19日

佐藤英道衆議院議員、田塚不二男根室市議会議長と根室市にて、北方領土最大の島である択捉島で昭和10年に生まれ13歳まで択捉島に住んでいた元島民の方からお話を聞かせていただきました。



昭和20年9月3日に突然ロシア人兵隊がやってきた。島を占拠されて約3年、家族7人が食べていくことに大変ご苦労されてきたこと。昭和23年10月、引き揚げ船の最終便で樺太に行き2週間に渡り過酷な生活を強いられたこと。船中では荷物の上にたくさんの人がいて貨物船にはトイレが2つしかなく劣悪な環境であったこと。命辛々、函館に帰還したこと。

ここでは書き切れないほど当時の生々しい状況を聞きました。現在は「語り部」として活躍されていますが、御歳82歳です。そして今日よりビザなしで択捉島へ通算24回目の渡航です。最後に自分の代で解決できなくても二世・三世の世代になったとしても必ず解決させる、絶対に諦めない、という言葉に胸を打たれました。

北方領土問題、これは全国民がもっともっと声をあげていかなければならない重要な問題であり、この問題解決なくして本当の意味での終戦は来ないと強く思います。

北海道日本海沿岸 トド等海獣類漁業被害対策緊急集会

2017年7月23日

22日札幌で行われた同集会に参加。北海道全体の水揚げが減少するなか、トド等海獣類による被害が拡大しています。トドは一頭あたり1日20kg捕食すると言われ来遊数6237頭から試算して被害は3万トン、145億円に上ると言われています。



漁業者によるハンター駆除も限界にきており、今後、実効性のある対策が必要とされています。

現在、様々な対策が打たれる中で、水中音響忌避装置に活路がありそうな報告もありました。

JR釧網本線の現地視察

2017年8月16日

JR釧網本線の現地視察に来ています。地域の通院通学として利用されているだけでなく、外国人を含む観光客の利用も増えているようです。

世界遺産の知床、網走国定公園、阿寒摩周国立公園、釧路湿原国立公園など多くの国立公園を走る釧網本線です。ひがし北海道広域観光周遊ルートにもなっているこの線区は、戦略的に活用できないものか、さらなる検討が必要と考えます。



花咲港屋根付岸壁

2017年7月21日

佐藤英道衆議院議員とともに花咲市場にてセリを視察。イワシやサバ、珍しくブリなどが水揚げされていました。その後、花咲港に設置された屋根付岸壁、10m岸壁、根室漁協栽培センター、根室港防潮堤工事現場、耐震岸壁、エトピリカ船内を視察。商工会議所では、4漁協組合長様と懇談のあと、北方四島交流センター（ニホロ）を視察。

組合長との懇談では、サケマスの影響が非常に大きいと切実なご意見を聞きました。根室は水産が生命線であり、今後、国や道の様々な支援が求められています。



久著呂川を現地視察

2017年8月14日

釧路管内の鶴居村を流れる久著呂川を現地視察しました。大雨による川の増水で氾濫し牧草地に越水すると牧草地に悪影響を及ぼします。鶴居村で酪農を経営している方からも詳しくお話を伺いました。

道東地域の大きな基幹産業である酪農業に関わる諸課題について意見交換しました。



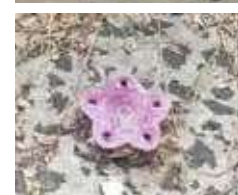
釧路港ヒアリ定着防止対策

2017年8月18日

8月18日 釧路西港第3埠頭にて佐藤英道衆議院議員、月田光明釧路市議、松橋尚文釧路市議とともにヒアリ定着防止対策・緊急工事を視察。

中国からの定期コンテナ航路を有する港湾として釧路港を含む道内6港湾にて行われました。

トラップ(殺虫餌)を設置し調査が行われています。阿寒摩周や釧路湿原など国立公園を有するこの地域で生態系に影響が出ないように万全の対策をお願いしました。



北海道博物館視察

2017年9月6日

道議会の文化・音楽議員連盟による博物館視察に参加しました。

同博物館では、北海道の歴史やアイヌ文化などがダイナミックに展示されています。

また特別展として北海道と野球をめぐる物語が開催されています。来年の北海道150年に向けて、重要な役割を担う北海道博物館の発展を願っております。



気仙沼BRT視察調査

2017年9月8日



「BRT」とは、バス・ラピッド・トランジット(Bus Rapid Transit)の略で、連節バス、PTPS(公共車両優先システム)、バス専用道、バスレーン等を組み合わせることで、速達性・定時性の確保や輸送能力の増大が可能となる高次の機能を備えたバスシステムです。盛駅と気仙沼駅では鉄道とBRTが同じホームに乗り入れています。

復興の途上にある東北で導入され、専用道路から一般公道へ乗り入れ可能なことから、地域住民の声をもとに、病院前などにもバス停が設置されていました。

また高校生からは以前の鉄道より本数も増えて部活ができるようになったと喜びの声もあるようです。

あくまで列車と同じ駅を基点にして時刻表もあり、住民ニーズに添えている点は、いいと感じました。

かつての線路がアスファルトのバス専用道路になり、そこをスイスイ走り、いつのまにか公道を走っているBRT。実際に乗ってみなければわからないことが多々ありました。

仙台国際空港

2017年9月7日

今後、北海道7空港の民間委託が予定されている中で、既に民間委託されている仙台国際空港を調査。

仙台国際空港株式会社の岩井社長より委託後の取り組みについて伺いました。民間の発想で利用しやすい人が集まる空港づくりを目指しており、大変参考になりました。

LCC就航に伴う利用者数の増加で空港を拠点とした地域活性化が期待されています。



北方領土啓発塔

2017年10月2日

道庁前庭の北門付近に新しく北方領土啓発塔が設置されました。高橋はるみ知事や元島民の方も除幕式に参加されました。より一層の世論喚起を期待しております。1日も早く領土問題が解決することを望みます。



植樹祭

2017年10月15日

当別町「道民の森」神居地区にて、北海道・木育フェスタ2017、植樹祭・育樹祭に参加。

